

区民のページ

各区からのお知らせや
魅力・取り組みなどを紹介します。

※人口は住民基本台帳による数（令和4年5月31日現在）



人口：295,477人 面積：450.70km²

■北区役所 〒700-8544 北區大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

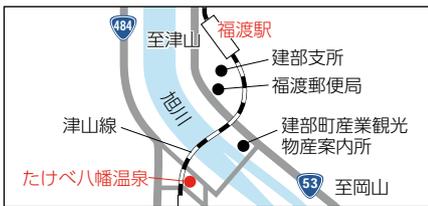
北区



温泉と 観光列車「SAKU美SAKU楽」の停まる駅 福渡へ!

●区役所の位置

岡山 destinations キャンペーンが7月から始まり、県北エリアへ向け新たな観光列車「SAKU美SAKU楽（さくびさくら）」が津山線を運行します。観光列車が停車する建部町では『たけべ福渡しプロジェクト』を結成し、多くの人に建部に来ていただけるように、地元の人とも触れ合える楽しいイベントを企画しています。



◎おかだ美保水彩画とスケッチ展

開催日：7月1日(金)～18日(祝)

時間：10時～21時

場所：たけべ八幡温泉

◎福ふく市（雨天中止）

開催日：7～9月の各第1・3日曜

時間：10時～13時

場所：J R 福渡駅

内容：新鮮野菜やヨーグルト、コーヒー、ケーキ屋さんのかき氷など、町自慢の商品が並びます。この時だけのお店同士のコラボもお楽しみに。(出店店舗は日によって替わります)「福の町たけべ福渡し」に福を探しにぜひお越しください。

観光列車はJ R 福渡駅に10分程度停車します。かわいいピンクの列車を見に来てください。



福渡駅停車時間は7～9月の毎週金～日曜 11時38分～11時50分、15時10分～15時19分、16時53分～17時5分です。(福渡駅に約10分間停車する便のみ掲載)

●問い合わせ

たけべ福渡しプロジェクト
(建部町観光協会内)

☎086-722-4052



人口：147,304人 面積：51.24km²

■中区役所 〒703-8544 中区浜三丁目7-15

中区

百間川緑地テニスコートがリニューアル! ～狙え「サービスエース」～

●区役所の位置

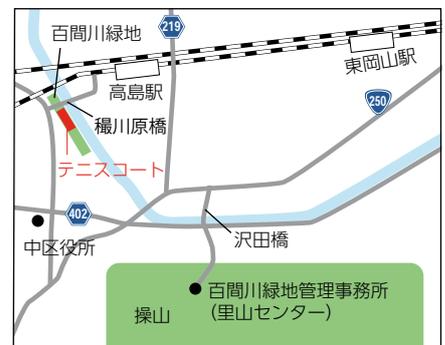
中区には、水と緑の憩いの場として、市民に広く親しまれている百間川緑地があり、河川敷には、テニス、サッカー、野球、ラグビー場などのスポーツ施設が整備されています。

このたび、中区東川原の穰川原橋付近のテニスコート8面のうち、4面をリニューアルしました。全米オープンなど世界の大きなテニス大会が開催されるハードコートと同様のサーフェス（表面の材質）となっています。

「岡山市施設予約システム」でテニスコートの空き状況の確認、抽選・予約申し込みができます。

令和4年以降も順次、残りのテニスコート4面をリニューアルしていく予定です。工事中はご迷惑をお掛けしますが、どうぞ楽しみにお待ちください。

詳細は市HPをご確認いただくか、または百間川緑地管理事務所にお問い合わせください。



●問い合わせ

百間川緑地管理事務所
(操山公園里山センター内)

☎086-273-2453



■各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表

☎086-803-1000



人口：93,148人 面積：160.53km²

■東区役所 〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

東区

東区で活躍しているはしご車をご存知ですか？

令和3年5月から、東消防署では屈折はしご車を導入しています。屈折はしご車は塔をΣ（シグマ）型にすることにより、作業性が高く、ほぼ垂直に上下するリンク機構と伸縮



ブームを併用しているため、塔を直線的に操作でき、目標への接近が大変容易になりました。

また、建物やフェンスなどに接近

し、ブームの長さを十分に活かして限りなく火元に近づいて消火、救助活動を迅速かつ効果的に行うことができます。

さらに、リンクとブームを最大まで伸ばすことにより、約26メートルの高さ（9階建ての建物に相当）まで先端のバスケットを配置できるため、高層建築物の消火や救助にも対応できます。以前のはしご車では接近が難しかった住宅密集地や高層建築物にも、接近が可能になりました。

はしご車への出動要請があった際には、迅速に消火、救助活動が行えるよう、東消防署では日頃から訓練

を実施しています。ぜひ、東消防署にはしご車の見学にいらしてください。



▲リンクとブームを伸ばしたはしご車

●問い合わせ

東消防署

☎086-942-9119



人口：167,374人 面積：127.48km²

■南区役所 〒702-8544 南区浦安南町495-5

南区

～藤田伝三郎翁の偉業～ 藤田地域の礎となった石積みの樋門

南区の藤田地域は藤田伝三郎翁の尽力により干拓された岡山有数の穀倉地です。

穀倉地となるまでには児島湾の干潟に堤防を築き、堤内の塩分を抜くことや稲を育てる「水」の確保に大変な苦労がありました。

海水上に流れ込む川の淡水を使うつきあげ突上用水や貯水池の築造、また、上流部の余水を引き込む水路工事などにより、長い年月をかけ稲作ができる土地に変えていきました。

この頃の土木工事は人の力で道具を使い、土・木・石などの組み合わせにより行われています。中でも干

拓地の礎となった石積みの樋門は、今も美しい姿のまま残っています。

このたび、藤田伝三郎翁の偉業を紹介する岡山歴史のまちしるべ「児島湾干拓2・6区」の看板が妹尾川三連樋モニュメント横に設置されました。まずはここから藤田地域の干



▲藤田の樋門

拓の歴史を学んでみてはいかがでしょうか。



▲岡山歴史のまちしるべ

●問い合わせ

南区役所藤田地域センター

☎086-296-2221